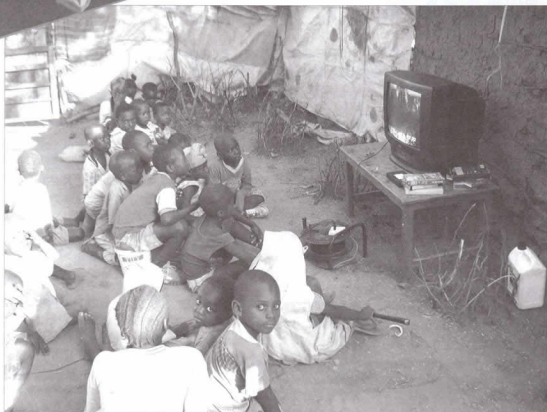




わかちあいプロジェクト

NEWS No. 19

2003 DECEMBER



ビデオを見るカクマ離民キャンプの子どもたち

テロを生む不公平な世界

松本傑 わかちあいプロジェクト代表

3月8日のイラク攻撃反対のデモに参加した一人ですが、その時、現在のイラクでの泥沼状態を、誰が予測していたのでしょうか。9.11のニューヨークのテロを予想することも出来ませんでした。これから先、世界はどうなるのだろうかという不安のなかにあります。

一体、何がこのようなテロの原因なのでしょう。それは、現在の世界の不公平なあり方に原因があると私は思います。

世界一の金持ちはビル・ゲイツ氏が資産が6兆1千億円。エチオピア、人口6,430万人、一人当たり、年間収入1万2千円、国民総生産8,000億円。ゲイツ氏の7分の1です。ケニアが、1.2兆円。イランが、1兆円。タイが、1.4兆円。また、2003年度版の国連食糧農業機関（FAO）によると、途上国の栄養不足人口は8億人（世界の人口61億人）で状

況は悪化していると報告されています。

同じ地球で同じ時代にありながら、この不公平な現実があります。余りの富の格差に、皆さんも言葉が失うのではないのでしょうか。この不公平を生み出し、それを受け入れているのが、アメリカを中心とする先進国の私たちです。

日本の国民総生産は、約540兆円、途上国支援額は、1兆円から段々に減額されて、今年度は、8,500億円です。援助してもなかなか効果があがないため、「援助疲れ」ということがいわれ、援助を受ける側の問題が指摘されています。確かにそれも事実です。

しかし、共に住みよ、より公平な世界をつくることは、私たちの課題であり、決して彼らの課題ではないという、国家を超える意識改革がなされない限り、全体として破滅の道にすすむことになるのではないのでしょうか。

コーヒー紅茶プロジェクト

フェアトレードラベル、日本でテイクオフするか？



FLOフォーラム

FLOフォーラムに参加して

北沢 青 (トランスフェア・ジャパンスタッフ)

2003年9月9日から9月12日にかけて、ロンドン郊外のホワイトランド大学でFLOのフォーラムが開催されました。参加者はアジア、アフリカ、中南米の生産者、貿易業者、IFAT、FLOと協力関係にある各国の国レベル組織、FLO、また運営のためのボランティアで、合計300人以上が参加する大規模で活気のあるフォーラムとなりました。

また、このフォーラムに先駆けて、9月8日の夕方からイギリスにおけるFLOの国レベル組織であるフェアトレード・ファンデーションの主催により、市民の参加によるフェアトレードの公開討論会がロンドン市内で行われました。拡大するグローバル化への危機感やフェアトレードへの期待とその有効性を疑問視する声等、フェアトレードへの一般市民の関心の深さを垣間見ました。

FLOのフォーラムは、基本的には全体での話し合いやグループに分かれてのワークショップを通じた様々な情報交換の場であり、大きな決議事項としては、長期計画の承認とアジア、アフリカ、中南米の各地域を代表する役員の出選でありました。

話し合いでは、各国の生産者からフェ



日本で販売されているラベル商品

日本の近況について

2003年は、日本のフェアトレードラベル運動の歩みのなかで、大きな出発となった年であったと、これから10年後にいわれるのではないかと期待しています。というのは、現時点の成果ではそのまでの確証がもてないからです。

9月に大手スーパー、イオン株式会社が出産フェアコーヒーを売り出ししました。また、秋からは中小的なコーヒー会社やラベル付きコーヒーに取り組んでいます。よく注意してお店を探せば、フェアトレードラベルの商品を手に入れることができるようになりつつあります。

この10年間、わかちあいプロジェクトと第一コーヒー株式会社のみという状況からすると大きな進展です。

最近、日本生協連を久しぶりに訪ねて、生協のホームページで紹介されている海外の生協のフェアトレードの取り組みについて、たとえば、スイスの生協のラベル商品の売り上げが2億4千ユーロに達していること、あつこうチョコレートを手づけてフェアトレードチョコレートにかえることにした生協など、こちらの方から説明しながら、ラベルコーヒーの導入を提案しましたが、まだ、時間がかりそうです。

残念ながら、生協の組合員の意識がそこまでになっていないでしょう。（松本傑 トランスフェアジャパン 事務局長）

フェアトレードラベルとは

フェアトレードの運動は、最初に1989年オランダではじまり、1997年、FLO (Fair Trade Labeling Organizations) という統一組織が発足しました。FLOの役割はフェアトレードの国際規格を設定し、参加する業者が「フェアトレード・ラベル」の使用を許可し、基準が守られていることを生産者と消費者のためにモニターします。各国のフェアトレード・ラベル団体（日本でフェアトレード・ラベル・ジャパン）は国内の販売者等とライセンス契約を結び、そのライセンスの管理や販売者とFLO、生産者への仲介、生産者支援を行います。

